

滋賀県認知症フォーラムの発表の手引き

◆発表要旨原稿の作成にあたって

それぞれの項目について、以下の点にご留意ください。

【題名】

すでに演題は、お申し込み時に報告いただいておりますが、キーワード、焦点となる内容(テーマ)を含み、この一文をみただけでどのような発表かイメージでき、読み手にアピールできるものであるか等再度ご確認ください。

申し込み時と変更する場合は事務局まで一報ください。

【目的(はじめに)】

この事例や研究を報告する目的として、発表したいと思った動機や背景を述べます。

また、どのような事例を報告するのか、何に注目してこの報告になっているのか、発表のテーマとの関連性も述べると、参加者が理解しやすくなります。

【方法】

事例の紹介や解決しようとした課題とその状況など、取組内容を記載します。

・事例紹介

性・年齢(概数)・認知症の原因疾患や重症度、ADL(日常生活動作)レベル、アセスメント結果などを書きます

・解決しようとした課題とその状況

どのような課題があったのかその状況を記載します。

・取組内容

実践した内容に対するアセスメントとプランの概要などを述べます(詳細は結果に記載します)。

新しい方法を試みた場合は、導入した方法を分かりやすく述べます。

【倫理的配慮】

発表することについて、本人と家族、および施設長などの責任者から承諾を得ていることを述べます。

※倫理的配慮とは・・・?

事例発表は認知症ケアの発展に重要なものですが、利用者やその家族等関係者は、より適切なケアサービスを利用するために個人情報を提供しておられ、それ以外の目的を想定されていません。個人情報を知らぬ間に公表されることで、不快な思いをされたり、信頼関係を損なうことにならないよう、事前に、発表の目的や意義を利用者や家族等に説明し、利用者や家族等の同意を得る必要があります。また発表の際には、個人が特定される可能性のあるものは匿名(地域名、名前、事象の起こった年月日など)にします。

【結果】

事例の経過、活動内容やケアの実際(アセスメント・方法・ケースやスタッフの反応など)、新しい方法を試みた成果などを丁寧に、書きます。

【考察・まとめ】

「目的」に記載された内容に対してどのようなことが分かったのかを、結果を踏まえて具体的に書いてください。結論や今後の課題などを含め、今後の認知症ケアにどう活かしていくかということを書いてください。

ただし、結果に述べていない事実を新たに考察部分に記載するのは避けてください。